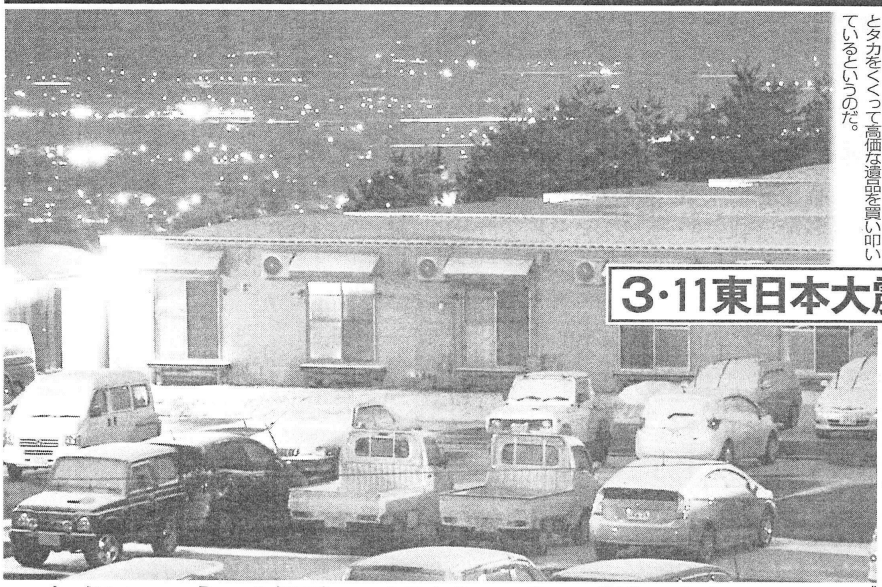
東京スポーツ
TOKYO SPORTS PRESS
昭和35年4月2日第3種郵便物認可
A版
3月12日（水曜日）11日発行
東京スポーツ新聞社
東京都江東区越中島2丁目1番30号 〒135-8721
電話代表 編集(03)3820-0831 販売局(03)3820-0811 広告局(03)3820-0821
関西支社 堺市堺区松屋大和川橋2丁132番地
中部支社 名古屋市北区金城4-3-19
西部支社 福岡市中央区天神2の14の8
©東京スポーツ新聞社2014年
第17401号 日刊（祭日は休刊）
www.tokyo-sports.co.jp
振替口座 00120-2-93236

震災から3年 仮設住宅 遺品に群がる ハイエナ業者 2面

仮設住宅 遺品に群がる 悪徳業者

古物営業法違反者が続出

被災者をダマして商売をしたのは、偽ベートーベンだけじゃなかった!! 東日本大震災から11日で3年がたった。地震の揺れによる被害で亡くなった人はもちろん、仮設住宅で暮らし病気にかかり死亡したり自殺する人も少なくない。身寄りもなく、孤独死した被災者をめぐっては、遺品を狙ってくるハイエナのような業者の存在が問題になっている。遺族がおらず誰からも文句を言われないから、とタカをくくって高価な遺品を買い叩いているというのだ。



10日、雪に包まれる福島県大熊町の仮設住宅

3・11東日本大震災から3年

3年の月日が経過し、震災の記憶も徐々に風化しつつあるが、被災地では見過ごすことのできない問題が起きている。

一般社団法人「遺品整理士認定協会」の副理事長を務める小根英人氏は「仮設住宅で自殺したり、孤独死する人が増えているのはすでに社会問題として知られているが、その故人の遺品を不当に買い取ろうとする悪質な業者の存在はあまり知られていない」と話す。

孤独死というだけに、仮設住宅で亡くなった人は、身寄りのないことが多い。代わって自治体が遺品整理を業者に依頼することになる。だが「遺品の中には貴金属や家電製品など値段のつくものがある。しかし『死んだ人の物だから、安くしか買い取れないよ』と言って二束三文の値をつける業者が多い」（小根氏）。自治体の担当者も被災者がほとんど。業者のヤリ口には心を痛めている。

もちろん業者から受け取った代金は自治体が地域のため、必死に生きている被災者のために使うことになる。それなら、亡くなった人たちも異存はないだろう。

不当に安く買い叩きボロ儲け

〝身内がいないから文句いわれないだろう〟

それなのに「身内がいないから、買い叩いても誰からも文句を言われないだろう」と考えるとは、悪質にもほどがある。

貴金属なら安くても金（きん）の売値相場の約7割で買い取るが、それを5割以下で買い取る業者もいる。また、数点の遺品を「まとめていくら」などと言って買い取る者もいるそうだが実はこれはアウト。

「1点ずつ値段をつけないと古物営業法に違反。まとめ買いするときは、その中の1点に高価なものがあることが少なくない」（小根氏）

ただでさえ、被災で苦しい思いをしてきた人たちの最期に、こんなひどい仕打ちをしているとは…。そこで、遺品の適正な買い取り価格を決めるという作業の必要性が生まれた。

同協会では、10日から「遺品査定士」の養成講座を開講した。高まったニーズに応えられる人材の育成を目指すという。遺品に適正な値段をつけて遺族らに伝えることが仕事だ。要望があればその場で買い取りもする。

しかもこの問題は、なにも被災地に限ったことではないのだ。悪徳業者がはびこることを示す事件が昨年、愛知県で起きている。

孤独死した男性の遺品整理を依頼された廃品回収業者の男が、作業中に預金通帳と印鑑を盗み、個人の銀行口座から40万円を勝手に引き出したとして逮捕されたのだ。本来、見つかった貴重品は必ず依頼主に報告する義務がある。

こんな手癖の悪い業者がいるのだから、査定額を安くする業者も当然いるわけだ。

こういった事件は氷山の一角。小根氏は「現金や、ずっとしまわれていた高級食器セットなどを盗まれたなど、事件になっていないようなものも多く耳にする」と指摘する。

買い取り業者が3000円と言っていた遺品を大手リサイクルショップに持っていったら1万円と言われたなどのメチャクチャな事例が挙がっている。遺品査定士という資格ができることをきっかけに、一定の基準ができることが期待される。

（塚田賢慎）